

進路指導室から 第375号

はじめに

第1回考査が6月20日(月)から始まります。1年生にとっては高校での初めての考査となります。定期考査は、それまでに授業を通じて学んだ知識が身についているかを確認する機会です。学んできたことを丁寧に振り返りながら準備を進めてもらいたいと思っています。

「2023年度の主な入試変更点」について

「2023年度の主な入試変更点」について、代々木ゼミナールから提供された資料を参考にまとめています。変更は受験生の動向に影響を及ぼしますので、注意してください。なお、あくまで現段階での内容です。必ず、ホームページ等で確認してください。

■ 難関国立大学の入試変更点

大 学	内 容 (予定・構想中も含む)
一橋大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャル・データサイエンス学部 (仮称) を設置予定。定員は60名 ・ 既設の学部で定員減 (商17名、経済17名、法11名、社会15名)
名古屋大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医学部医学科で募集区分と募集人員を変更 【一般前期】一般枠90名 → 一般枠85名、地域枠5名 【一般後期】地域枠5名 → 一般枠5名 ・ 工学部の2学科で募集人員を変更 【電気電子情報工】一般前期107名、学校推薦型11名 → 一般前期106名、学校推薦型12名 (うち6名は女子枠) 【エネルギー理工】一般前期36名、学校推薦型4名 → 一般前期34名、学校推薦型6名 (うち3名は女子枠)
京都大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済学部の特色入試は総合型25名 → 学校推薦型 - 文系型15名、理系型10名 ・ 工学部の特色入試で募集人員と1校からの推薦人数を変更 【地球工】募集は3名 → 4名 【建築】募集は2名 → 3名 【工業化】募集は7名 → 10名。1校からの推薦は1名 → 2名まで 【物理工、電気電子工、情報】1校からの推薦は1名 → 男女各1名、計2名 (男子校か女子校の場合は1名) まで
大阪大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理学部の生物科学科で募集人員を変更 【生命科学コース】一般前期25名、総合型5名 → 一般前期26名、総合型4名 【生命理学コース】一般前期20名、総合型5名 → 一般前期22名、総合型3名
九州大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般前期の2次の外国語でドイツ語・フランス語が選択できるのは文と経済学部のみ (教育・法・理・医・歯・薬・工・芸術工・農の9学部は英語のみに) ・ 農学部 (前期) の2次の理科で地学の選択不可に (物理・化学・生物から2選択)

■ 国公立医学部医学科の入試変更点

大 学	内 容 (予定・構想中も含む)
金沢大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般前期で合否判定基準 (口述試験にて医師の適性を欠くと判断された場合には、学力検査の成績に関わらず不合格となる可能性がある) を追加
岐阜大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後期を廃止、前期のみに
名古屋大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集区分と募集人員を変更 【一般前期】一般枠90名 → 一般枠85名、地域枠5名 【一般後期】地域枠5名 → 一般枠5名
広島大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般前期で下記を変更 【第1段階】7倍 → 約5倍 【2次配点】2種類のパターン → 3種類のパターン (「英数重視型」を追加) 「理科重視型」英300、数300、理1200/「英数重視型」英800、数800、理200 「一般型」英600、数600、理600 【合否判定基準】最初に「理科重視型」で合格者の半分を決定、残りを「一般型」で決定 → 最初に「理科重視型」または「英数重視型」で合格者の半分を決定、残りを「一般型」で決定

■ その他の国公立大学の入試変更点

大 学	内 容 (予定・構想中も含む)
茨城県立医療大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護、理学療法、作業療法学科 (前期・後期) の共通テストは5教科7科目 → 5教科6科目 (理科が2科目 → 1科目)

宇都宮大学	・ 地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科（前期）の2次試験は数、理1 → 数のみ
埼玉大学	・ 教育学部小学校コースは5区分で募集 → 12区分での募集
東京医科歯科大学	・ 医学部保健衛生学科 - 検査技術専攻は前期のみの募集 → 前期・後期の募集 ・ 歯学部歯学科（後期）の募集人員は15名 → 10名。第1段階選抜は約6倍（通過予定者は90名） → 約10倍（通過予定者は100名）
東京外国語大学	・ 全3学部（前期）の共通テストは4教科5科目 → 4教科6科目（数学が1科目 → 2科目）
東京学芸大学	・ 初等教育 - 美術は前期・後期の募集 → 前期のみの募集
電気通信大学	・ 前期は全類一括の大括り募集 → I類～III類の類別募集
東京都立大学	・ 健康福祉学部放射線学科（後期）の共通テストは3教科5科目 → 4教科6科目（国語追加）
横浜国立大学	・ 教育学部（前期）は面接試験の結果による判定基準を追加 ・ 経済学部（前期）の共通テストは理系型5教科7科目の選択可に ・ 理工学部（前期・後期）は第1段階選抜の実施を予告（前期：約6倍/後期：約8倍） ・ 理工学部（前期・後期）は共通テスト理科の選択可能科目を変更。化学・生命系は地学の選択不可に、その他は生物と地学の選択不可に
横浜市立大学	・ 理学部（前期）とデータサイエンス学部（前期）の2次試験は英語を追加 理学部 - A方式：英語、数学、理科2に / B方式：英語、数学、理科1に データサイエンス学部：英語、数学、総合問題に
岡山大学	・ 後期募集を全て廃止、前期のみに
広島大学	・ 教育学部は第四類 - 音楽文化系は前期・後期の募集 → 前期のみの募集 ・ 法学部はキャンパスを移転。2023年度入学者は1年次から東千田キャンパス（広島市中区）に ・ 理学部化学科（後期）の2次試験は理科1 → 面接

■ 国公立大学の開設・改組等

大 学	内 容（予定・構想中も含む）
東京学芸大学	・ 学校教育系の4種類 → 1課程4専攻に改組
一橋大学	・ ソーシャル・データサイエンス学部（仮称）を新設
長岡造形大学	・ プロダクトデザイン、視覚デザインの2学科 → デザイン学科に改組
金沢美術工芸大学	・ デザイン学科は視覚デザイン、製品デザイン、環境デザインの3専攻 → ホリスティックデザイン、インダストリアルデザインの2専攻に改組
愛知県立大学	・ 外国語学部スペイン語圏専攻 → スペイン語・ポルトガル語圏専攻に改組
名古屋市立大学	・ データサイエンス学部（仮称）を新設
周南公立大学	・ 私立大学の枠組みでの入試 → 公立大学の枠組みでの入試 ※ 旧「徳山」大学
名桜大学	・ 国際学群 → 国際学部（国際文化、国際環境産業の2学科）に改組 ・ 人間健康学部は健康情報学科を新設

■ 私立大学の主な入試変更点

大 学	内 容（予定・構想中も含む）
旭川大学	・ 公立大学法人化を構想中。旭川市立大学に名称変更予定
学習院大学	・ 法学部で一般入試プラス試験を新たに実施
中央大学	・ 総合政策学部の一般入試学部別選抜で国語の古文を削除し、現代文のみに
法政大学	・ 経営学部で一般英語外部試験利用入試を新たに実施 ・ スポーツ健康学部で共通テスト利用C方式を新たに実施
早稲田大学	・ 教育学部で共通テスト利用入試を新たに実施 ・ 教育学部のA方式（文系型）で政治経済の選択不可に ・ 教育学部のB方式（理系型）で生物・地学が選択不可に ・ 教育学部理学科生物学専修の一般選抜は個別試験のみの入試を廃止
立命館大学	・ 総合心理学部で一般入試学部別個別配点方式（理科1科目型）を廃止し、一般入試理系型3教科方式を実施 ・ 総合心理学部の共通テスト利用入試で、4・5教科型、7科目型に加え、3教科型を実施
関西学院大学	・ 社会学部で一般入試英語・数学型を廃止 ・ 教育学部教育学科初等教育専攻で一般主体性評価方式を廃止 ・ 共通テスト利用1月出願英語資格・検定試験利用が2教科から英語を含む3教科に

終わりに

広島城周辺は、緑が映える季節になりました。
さて、先日、花屋でバイトしている卒業生が小さな花束を届けてくれました。
こうした何気ない心遣いは嬉しいものです。

